

第55回（令和7年度第3回）米子市子ども・子育て会議（議事概要）

1 開催日時 令和8年2月16日（月）午後6時30分から午後8時まで

2 場 所 米子市福祉保健総合センター ふれあいの里 4階 洋室

3 出席者

(1) 委員

青木委員、上村委員、室委員、藤井委員、小梅川委員、松南委員、徳岡委員、永見委員、嘉手苅委員、吉井委員

(2) 事務局

瀬尻こども総本部長、長谷川こども総本部次長

こども政策課：永榮課長、國谷担当課長補佐、砂場係長、田野主任、河原主事、田原主事

こども相談課：山川課長、世山課長補佐、吉元家庭児童相談室長

こども施設課：飯田保育リーダー、松原子育て支援リーダー

こども支援課：長尾課長、田原担当課長補佐

4 議 事

(1) 開会

(2) 会議の成立宣言

(3) 会議の公開及び議事録の作成について

一同承認

(4) 議事

ア 議題1「米子市こども計画の改定（こども誰でも通園制度関係）について」

【事務局説明】「資料1-1」、「資料1-2」、「資料1-3」及び「資料1-4」参照

- ・計画の改定に係るパブリックコメントの結果について報告した後、計画の改定案について説明した。

【質疑応答等】

- ・なし

【結果】

- ・改訂案のとおり了承された。

イ 議題2「乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）に係る認可及び確認について」

【事務局説明】「資料2」参照

- ・民間2施設についての事業の認可及び事業者の確認並びに公立4施設についての事業者の確認について説明した。

【質疑応答等】

- 吉井委員 一般型のみで必要な量は確保できるとのことだが、余裕活用型の枠はどれくらいあるか。

- 事務局 現在、通常保育の令和8年4月1日入所の2次募集中なので、どの程度余

裕が生じるか、現時点では詳細は分からないが、リトルえんぜる保育園は0歳児及び2歳児に余裕があると認識している。米子市あがた保育園、米子市淀江どんぐりこども園については、空きがある状況で、受入れに余裕がある。

【結果】

- ・全ての認可及び確認について了承された。

ウ 議題3「特定教育・保育施設の確認等について」

【事務局説明】「資料3」参照

- ・民間1施設の保育所から認定こども園への移行に係る事業者の確認辞退及び確認について説明した。
- ・民間1施設の事業所内保育事業所から認定こども園への移行に係る事業の廃止及び事業者の確認辞退並びに事業者の確認について説明した。
- ・民間保育施設3施設に係る利用定員の減少について報告した。

【質疑応答等】

- ・なし

【結果】

- ・全ての確認について了承された。

エ 議題4「令和8年保育提供体制の確保のための実施計画について」

【事務局説明】「資料4-1」「資料4-2」参照

- ・令和8年度以降の保育提供体制（児童数の推移、受け皿の確保数、国からの財政支援を受ける内容等）について、説明した。

【質疑応答等】

- 松南委員 計画における実績や令和7年度以降の見込み数は、いつ頃のデータを元に算出されたか。
- 事務局 直近のデータを元に算出した。
- 松南委員 「申込者数」の数字は、市が把握している施設のデータの数字で合っているか。
- 事務局 そのとおり。
- 松南委員 就園率はどの程度か。
- 事務局 0歳児が約2割、1・2歳児が約6～7割、3歳以上児が約9割程度。
- 吉井委員 幼稚園における預かり保育は、どれくらいの利用があるのか。
- 事務局 幼稚園における預かり保育の利用数は把握していない。

【結果】

- ・計画について了承された。

オ 議題5「令和8年度就学前教育・保育施設整備交付金の整備計画について」

【事務局説明】「資料5」参照

- ・令和8年度の就学前教育・保育施設整備交付金の整備計画について説明した。

【意見交換等】

- 松南委員 事業費の規模はどの程度か。

- 事務局 西・ねむの木保育園が約12億、米子聖園マリア園が約6億、かいけ心正こども園が約1千万程度である。
- 青木会長 交付金なので、国と都道府県と市町村と事業者で負担すると思うが、費用の負担割合はどの程度か。
- 事務局 建物の躯体に影響が生じる整備は、整備前後の利用定員によって単価が決まってくる。条件によって異なることはあるが、基本的には国が1/2、市と事業者が1/4ずつ。かいけ心正こども園のような躯体に影響が及ばない整備は、民間2社、公的機関1つの計3つの見積をもとに一番低い見積額が、単価となる。負担割合は、躯体に影響が生じる整備と同じとなる。

【結果】

- ・計画について了承された。

カ 議題6「令和8年度米子市・境港市共同事業『特別保育情報連携基盤事業（一時預かりの相互利用と子育て支援デジタル化）』の実施計画について」

【事務局説明】「資料6-1」、「資料6-2」参照

- ・実施計画について説明した。

【意見交換等】

- 室委員 公立では現在も電子申請で予約できるということだが、このシステムは米子の人が境港の施設の予約もできるということか。また支払もキャッシュレスにできると利便性が高くなると思うがいかがか。
- 事務局 境港市と同じシステムを導入することで、事務の一元化を図る。キャッシュレスサービスについても取り組んでいく。
- 永見委員 使い方が分からない人へのフォローが必要だと思う。また、今後、周辺市町村へも広がっていく見込みか。
- 事務局 本システムの導入にあたっては、委託を予定しており、委託先にコールセンターを設ける予定。最近の園児の保護者はスマホを使いこなせる印象だが、使えない方には丁寧に対応していく。周辺自治体については、境港市と実施をしてみて一つのモデルができてきたら、スケールメリットを考えて横展開していく予定。
- 室委員 初回利用の際の面談はアプリか個別の面談かどちらか。また、システムでは、予約可能な施設の一覧が閲覧できる仕様なのか、それとも各自で検索する必要があるか。夫婦が別々で使用することを考えると、一覧が見える方が分かりやすい。
- 事務局 事前面談では、子どものアレルギーや好き嫌いを把握し、安全に保育を行うために全施設で行うことを想定している。こども誰でも通園制度はWeb面談も可能としているため、必ずしもどちらかというわけではない。予約の仕様については、まだ構築前のため、意見として受け止めたい。
- 吉井委員 保護者が予約をしてから、園が承認するまでの間は、どのような表示となるか。一時預かりは人気があるため、空き状況が分かりづらくなることはないか。

- 事務局 キャンセル待ちの表示になる予定
- 徳岡委員 システムを使えない孤立している保護者は、従来どおり、対面での相談もできるか。孤立を防ぐ対策はあるか。
- 事務局 要保護児童対策協議会からあっせんする仕組みや、代理申請する仕組みがある。
- 小梅川委員 事業費と広域利用の見込みはどの程度か。
- 事務局 事業費は予算編成前のため回答できないが、見込み人数の単価で予算を組んでいる。広域のニーズは把握していないので、人数を示すことはできない。
- 嘉手苅委員 システムのアプリはどんなものか。ロコミ機能はあるのか。
- 事務局 こども誰でも通園制度では、国の総合支援システムを利用して認定している子どもの情報が分かるようになっている。一時預かり事業は、まだ未定。施設の概要を公開するようなものはあり、見える化はされるが、ロコミ機能はおそらくない。

【結果】

- ・事務局からの説明内容について了承された。

キ 議題7「子育てクラウドシステム（キッズコネクト）導入の効果について」

【事務局説明】「資料7-1」、「資料7-2」参照

- ・子育てクラウドシステム（キッズコネクト）導入の効果について説明した。

【意見交換等】

- 嘉手苅委員 保育士の保育に充てる時間のベースラインはどこか。
- 事務局 保育園全体で設定しており、親支援を行う時間をどうやって生み出せるかが重要だと考えている。園によっても負担軽減の規模は異なると考える。
- 嘉手苅委員 事務作業にかかる時間の増加は頭打ちすることはないか。目標値を変えても良いのではないか。
- 事務局 本計画で国の交付金の申請をしているため、変えることは難しい。本市としては、数値目標を達成することよりも、保育施設の方が楽になったと感じてもらうことが最も重要と考えている。
- 松南委員 事業者によって負担軽減の度合いは異なるとは思うが、私の運営している園では楽になって生産性は上がっている。本園は直接保育士は事務を行っていないが間接的には楽になっている。定着してくればいい。
- 青木会長 システムがダウンしたときが心配。利用者が使えなくなるため、リスクマネジメントを行うようにしてほしい。

【結果】

- ・事務局からの説明内容について了承された。

ク 報告1「家庭教育に関する取組について」

【事務局報告】「資料8-1」、「資料8-2」、「資料8-3」参照

- ・家庭教育に関する取組について、事務局から報告した。

【意見交換等】

- 室委員 夜型になってしまった理由を究明し、解決する手段を結び付けた方が良いでしょう。
- 事務局 核家族化や共働き等の社会的背景の変化が原因だと思う。原因をしっかりと考えながら取組を検討していく。
- 永見委員 ニューロダイバーシティという研究では、人間は朝型の人と夜型の人がいることが分かっているが、このフレーズが夜型の人を追い詰めるようなことはないか。
- 事務局 それぞれの家庭に事情があることは承知している。保護者の負担とならないよう、少しの工夫や気づき、きっかけづくりのような提案の仕方をしていきたい。
- 吉井委員 朝ごはんは家庭によって様々。学校では先生のハードルが高く、お母さんは頑張っているが、先生から頑張るようにと言われることがある。家庭での頑張りを認めてあげつつ、提案してあげてほしい。
- 事務局 強制するわけではなく、プラスアルファの何かや、ハードルの低いところからきっかけを提供するようにしていきたい。

(5) その他

特になし

(6) 閉会